

TAC 電験三種講座

石田先生からのメッセージ

23.12.25



年末年始の過ごし方

年末年始の過ごし方ですが、予定外の集まりや用事などで、思ったように勉強時間とはとれないものだと考えておく必要があります。

『やりたい』『やるべきだ』という気持ちがあるのに、思ったほど勉強時間を確保できないと、どうしても「あのときこうしておけば」や「もっとできたはずなのに」と、焦りや自己嫌悪といった心の負債を抱えてしまうことになってしまいます。

もちろん勉強できるに越したことはないのですが、『時間があるときに少し問題でも解こうかな』ぐらいの気持ちでいた方が良いと思います。

年末年始は、あまり無理な学習計画を立てず、以降の1月2月3月を戦うためのリフレッシュ期間にしても良いと思います。

勉強をする気になったときについて、

『まだ試験範囲の学習が終わっていない方』は、いつも通り講義や教科書を進めてください。

『試験範囲の学習がほとんど終わっている方』は、問題を解くのがオススメです。まとまった時間が取れるときには、ぜひ年度ごとで解いてほしいのですが、1年分解こうと思うと、90分+復習の時間がかかります。

やる気はあるけど1年分解くのは難しいというとき用に

- ・ちゃんと時間をとってできるとき
 - ・イスに座るほどのやる気はないけどゴロゴロしながらやりたいとき
- の2パターンに分けてオススメの範囲を各科目ごとに考えてみます。

TAC 電験三種講座

石田先生からのメッセージ

23.12.25



年末年始の過ごし方

- ・ちゃんと時間をとれるときにオススメの範囲

理論：コンデンサ、交流・三相交流回路

電力：発電の計算問題、電力計算、線路計算

機械：四機の計算問題（重要度は変>同>誘>直）、パワエレ、照明

法規：計算問題

- ・ゴロゴロしながらでもできる範囲

理論：直流回路の計算問題、過渡現象の波形問題、文章問題

電力：文章問題

機械：四機以外の文章問題、情報の基数変換と論理回路

法規：文章問題（特に電技）

このあたりでしょうか。

ちょっと教科書読もうかなと手を伸ばせるように、勉強に対するハードルを下げることも大切だと思います。

年末年始は基本的にゆっくりする方が多いと思います。

以前に「年末年始は全く勉強しませんでした」と笑っていた受講生の方が、そのまま合格していったこともあります。

年末年始に関しては、無理のない範囲で上手に勉強と付き合っていくのが良いかなと思います。